

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 688 号	氏名	原田 陽介
学位審査委員	主査 西田 教行 副査 大園 恵幸 副査 森内 浩幸		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（以下 MRSA）による血行性肺感染症に対するダプトマイシンの有効性を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 経血流的に MRSA をマウスに投与し、肺感染症を発症するモデルを作成し、ダプトマイシン投与群、バンコマイシン投与群、生理食塩水投与群の 3 群にてダプトマイシン投与の効果を細菌学および病理学的に比較検討しており、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ダプトマイシンが肺サーファクタント存在条件下では抗菌効果を示さないにも関わらず、血行性 MRSA 肺感染症では、有効に作用し、菌の増殖、肺組織の破壊像を改善し、生命予後にも影響を与えることを証明している。臨床の現場ではバンコマイシン低感受性 MRSA による感染例も出現し、使用可能な抗生剤が少ないことから、本研究が臨床応用へ進展することが大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			